

早期診断研修会

日本医師会生涯教育0.5単位（CC：11 予防と保健）を取得予定

「変わってきた胃がん対策と これからの胃がんの予防」

講師 京都第二赤十字病院 健診部 非常勤医師
小林 正夫 先生（当院 前健診部長）

日時：令和6年**1月18日（木）** 18:00～19:00
（17:30受付開始）

場所：京都ブライトンホテル 地下1階 麗華（れいか）の間

対象：がん診療に携わる医療従事者



19:10～懇親会あり
参加費無料

内容：

世界の胃がん罹患数は100万人を超え、その75%はアジアで占められ、アジアの中でも中国、日本、韓国で80%近くを占めている。

本邦の胃がん死亡率・胃がん罹患率は、肺がんや大腸がんに次いで第3位で、胃がんはまだまだ対策が必要ながんである。

胃がんの原因の70%はピロリ菌感染であり、これからの胃がん対策としては、ピロリ菌感染を考慮した胃がん検診、ピロリ菌感染者の効率的な拾い上げと除菌治療への誘導、除菌による胃がんリスクの低減が重要となる。

講演では、これからの胃がん予防はどうあるべきかについても言及する。



【お申し込み方法】

右記の専用申し込みフォーム（QRコード）または、裏面の専用申込書（FAX）にて必要事項をご入力・ご記入ください。

申込締切：令和6年1月15日（月） ※先着50名

専用フォーム



★受講いただいた方全員にオリジナルステーションナリーをプレゼントしています ※詳細は裏面へ

【主催】 京都第二赤十字病院 がん診療推進室

TEL：075-212-6102（平日9時～16時まで）

ホームページ：<https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>